

再評価結果（平成15年度継続箇所）

事業名： <small>おやな</small> 小屋名改良（国道156号）		事業区分： 一般国道	事業主体： 直轄
起終点： 自： <small>ぎふ せき おやな</small> 岐阜県関市小屋名 至： <small>せき おやな</small> 関市小屋名		延長： 1.0 km	
事業概要： 小屋名改良は、関市小屋名地区における、一般国道156号、248号、主要地方道関本巢線交差部の渋滞解消・交通安全対策を図ることを目的とした延長約1.0kmの道路である。 当事業は、交通容量が不足する区間の4車線化及び複雑な交差点の集約とあわせて、各道路と交差する鉄道の立体化を図ることより3箇所の踏切を除却する事業である。			
S49年度事業化	S49年度都市計画決定	H4年度用地着手	H9年度工事着手
全体事業費	約 80億円	事業進捗率	59%
計画交通量	43,800台/日		
費用便益比	B / C 2.2	総費用 87億円 （事業費：83億円 維持管理費：4億円）	総便益 194億円 （走行時間短縮便益：192億円 走行費用減少便益：1億円 交通事故減少便益：1億円）
		基準年：平成15年	
事業の効果等 - (3)中心市街地の活性化 岐阜中心市街地へ至る現道が混雑 - (1)都市圏の交通円滑化の推進 現道に主要渋滞ポイントである交差点が存在（小屋名） - (1)道路の防災対策・危機管理の充実 緊急輸送道路ネットワーク計画に位置付け（第1次）			
関係する地方公共団体等の意見 国道156号改良促進期成同盟会等から建設促進要望			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・朝夕のラッシュ時には、現道の交通容量不足と3箇所の踏切により、各交差点において、慢性的な交通渋滞が発生。 ・混雑度は、1.78と毎年微増。 ・近年の日交通量は2万台/日を超える状況で推移。 ・大型車混入率は、13%前後で推移。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在までに鉄道立体化の前段階の工事のうち、一般国道156号の切り廻し工事、暫定踏切の設置工事が完了しており、引き続き4車線化工事、鉄道立体化に向けた地下横断道工事、歩道整備を継続。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成10年代後半に完成4車線供用を予定。			
施設の構造や工法の変更等 設計施工は、周辺環境の保全に配慮すると共に、各種新技術の積極的な採用等によりコスト縮減に努める。			
対応方針： 事業継続			
事業概要図 			